

Leader



個人投資家の皆様への説明資料

リーダー電子（6867）

2025年3月18日

<https://www.leader.co.jp/>

会社概要並びに事業概要



<https://www.leader.co.jp/>

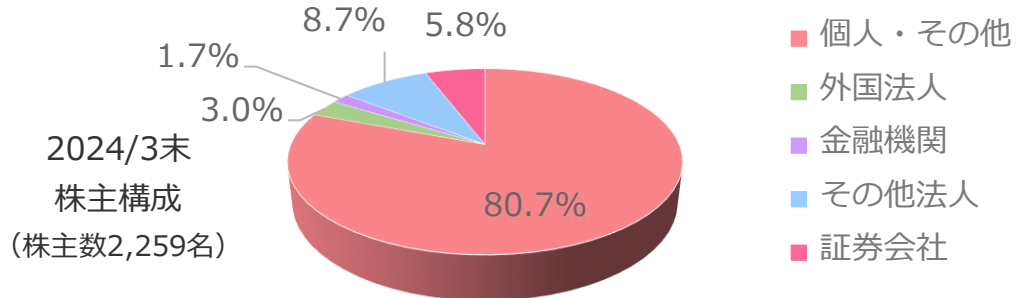
会社概要

商号:	リーダー電子株式会社 (スタンダード上場 6867) LEADER ELECTRONICS CORP.
設立:	1954年5月1日
事業内容:	電子計測器の研究開発・製造・販売
本社所在地:	神奈川県横浜市港北区綱島東2-6-33
資本金:	1,335百万円 (株主数 2,259名) 2024/3末
決算期:	3月31日
従業員数:	69名(単体)、136名(連結) 2024/3末
役員:	代表取締役社長 長尾 行造 他常勤取締役 3名、社外取締役 4名 (監査等委員会設置会社)
子会社:	海外販売子会社3社 (米国、中国、韓国) および Leader Electronics of Europe社(開発・製造・販売) (旧Phabrix社、2019年7月100%買収)



代表取締役社長 長尾 行造

1997年4月 通商産業省 (現経済産業省) 入省
 2001年4月 ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン
 (現プライスウォーターハウスクーパース・ストラテジー) 入社
 2002年1月 コーポレイト・ディレクション入社
 2015年6月 当社取締役
 2017年6月 当社代表取締役社長 (現任)



企業理念

「計測を通じ、豊かな社会づくりに貢献する」

「創造と革新」

「知恵の結集と研鑽」



経営ビジョン

外部環境変化を先取りし、社会のイノベーションを積極的に促す

計測技術を基盤としつつも、モニタリング、ソリューションへと時代の要請に応じて計測の形態の進化にチャレンジする

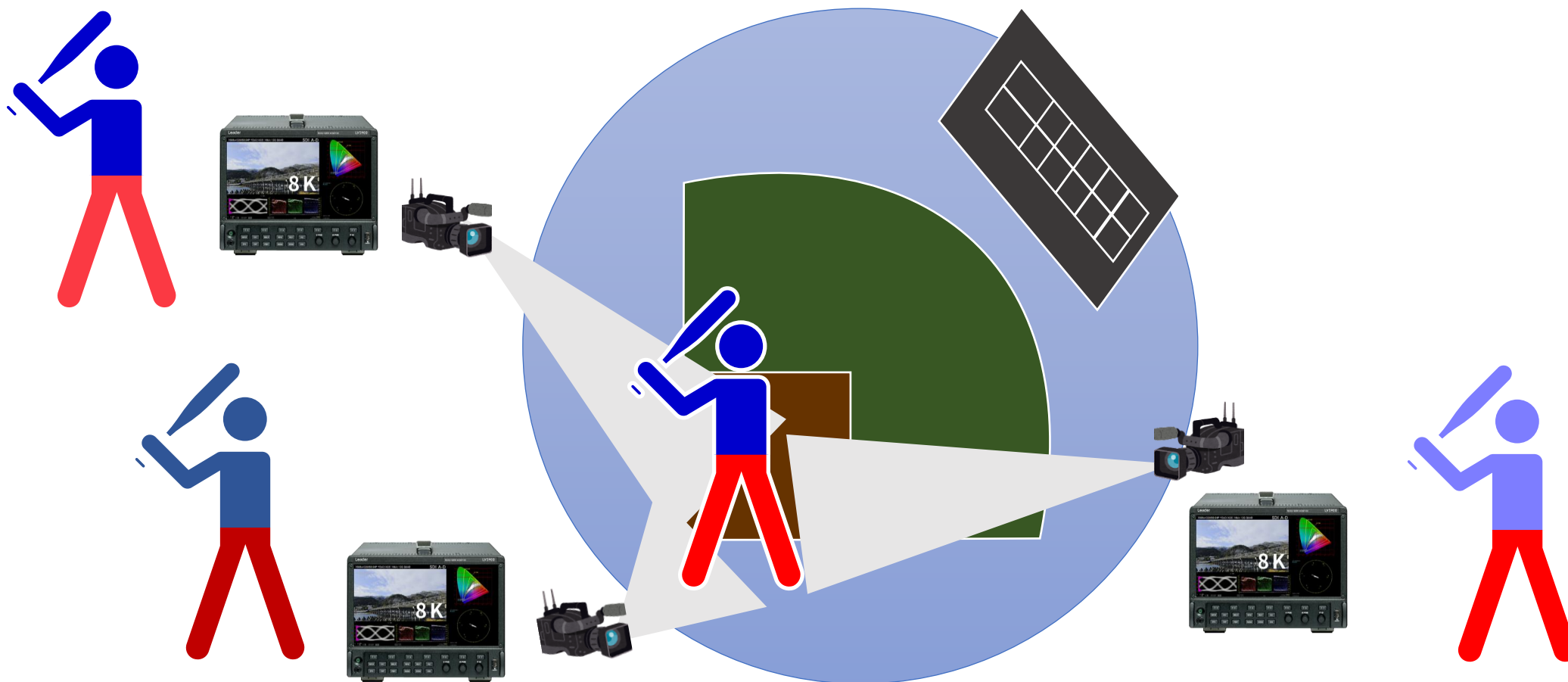
社内外の垣根を越えて知恵を結集し、スピーディな創造と革新を推進する

地域や属性の違いを建設的に受容し、「日本」の枠に束縛されない企業行動を実践する

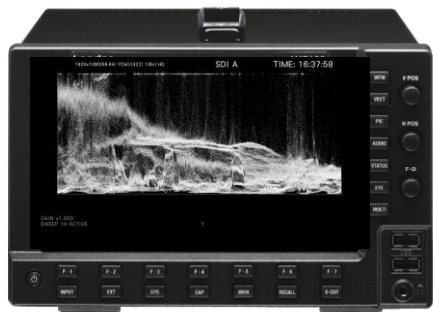
取引先、従業員、株主の共栄を追求する

波形モニターの役割

複数のカメラ間でおこる色味の違いを調整するための装置



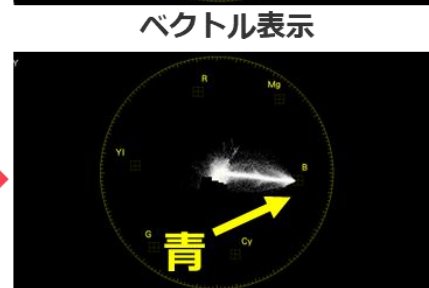
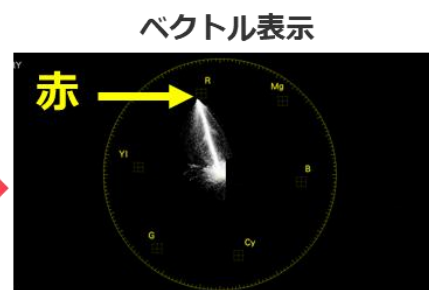
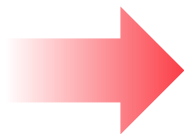
波形モニターの役割



弊社の波形モニターは
ビデオ信号のレベルや
色の測定がおこなえます

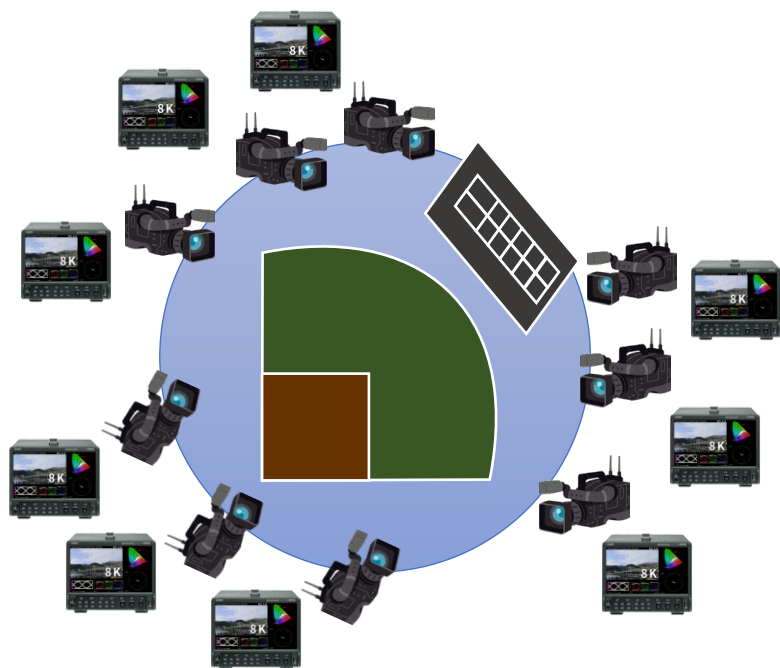


放送機材のビデオ信号

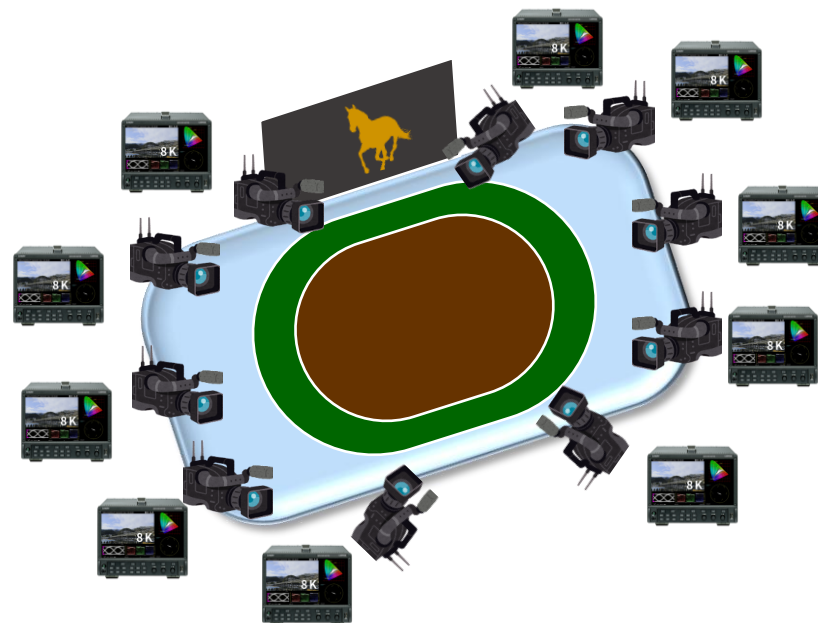


施設に設置されたカメラで映像コンテンツを制作

□ 野球スタジアム（海外）



□ 競馬場（日本）



WBCの中継でも活躍！

全世界をカバー



Leader

事業概要：世界シェア2位！

創業以来の「計測のプロフェッショナル」
として、幅広い産業を支援。

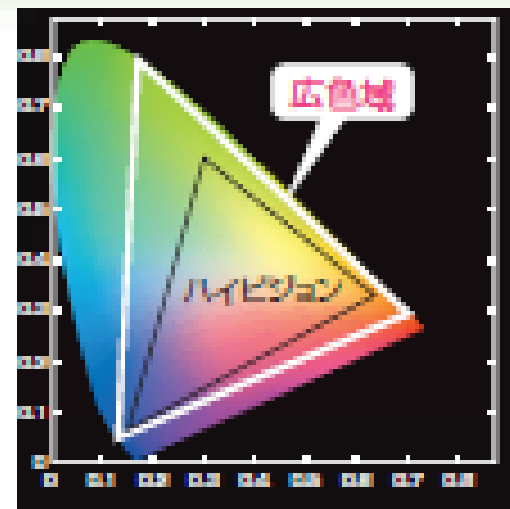


電波関連売上
(電気工事関係事業者対象)

その他売上
(サポート関連)

製造・販売
サポート

ビデオ関連売上
(放送関連事業者対象)



競合状況と当社グローバルシェア

北米、欧州において圧倒的な顧客満足度No.1を実現し、世界トップを狙う！



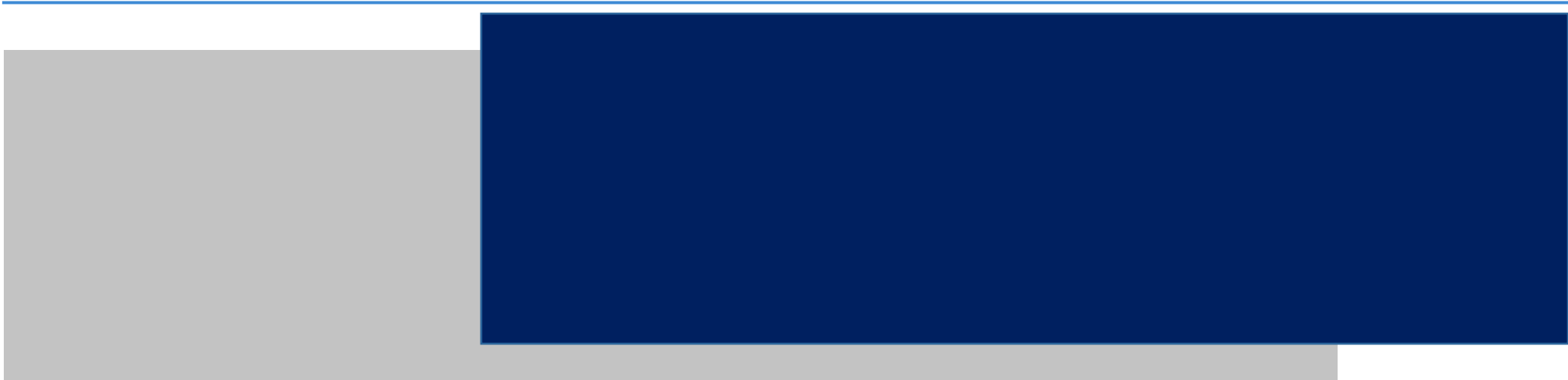
単位:百万円	24年3月末	24年12月末
流動資産	3,388	3,181
現預金	1,464	885
受取手形、売掛金及び契約資産	1,046	870
商品及び製品	372	419
その他	505	1,005
固定資産	1,243	995
有形固定資産	482	467
無形固定資産	31	44
投資その他の資産	729	483
総資産	4,632	4,176
流動負債	765	632
買掛金	149	122
1年内返済予定の長期借入金	6	6
その他	609	503
固定負債	507	520
退職金に係る負債	333	357
その他	173	162
純資産	3,358	3,024
株主資本合計	3,469	3,151
その他包括利益累計等	△110	-127
負債純資産合計	4,632	4,176

■ 実質無借金経営

- M&Aを常に追求できるよう、投資余力を十分に確保

自己資本比率72.4%（前期末比+0.3pt）

事業紹介



<https://www.leader.co.jp/>

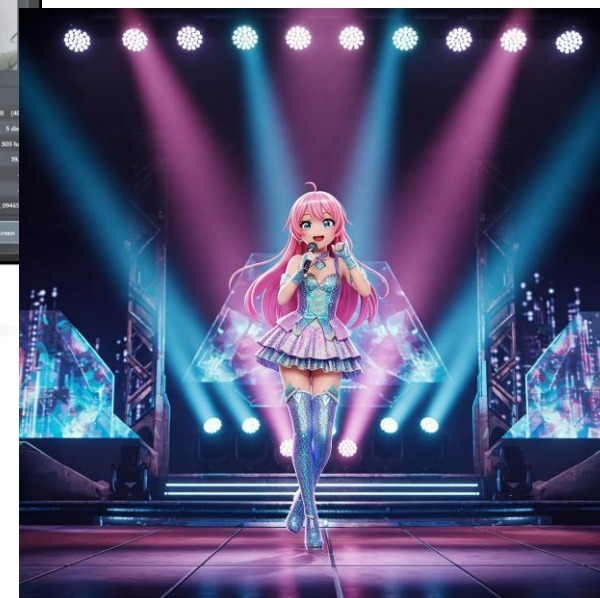
バリュービジネスとグロースビジネス

これまでご説明した、現在の収益の中核をなすバリュービジネスと中長期的な成長分野の開拓を目指すグロースビジネスの二本立て

バリュービジネス (VBC)



グロースビジネス (GBC)



GBC紹介 (1) SFR-Fit

- 世界唯一「魚眼カメラ」の解像度を測定できるソフトウェア
 - 少ない点数で幅広い画角をカバーでき、自動車搭載に最適

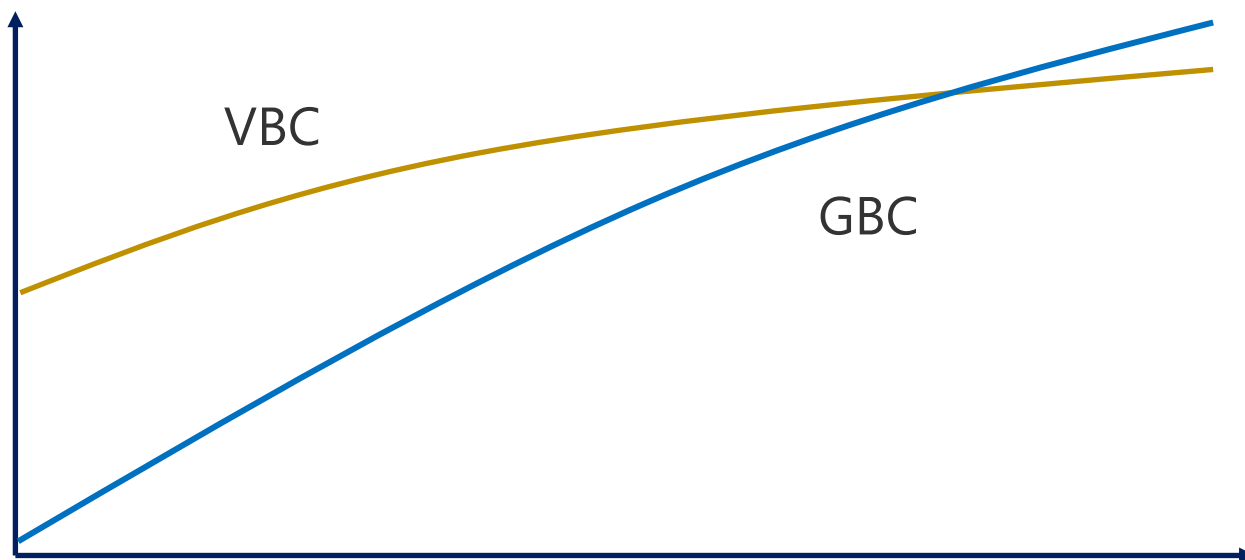


GBC紹介（2）新たな映像の世界

<https://www.youtube.com/watch?v=G4wQ8YkYCo4>

ANA Global Channel "ANA機内安全ビデオ「ポケモン特別版」"より引用
©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo.

- 世界的にも成長に限界のある放送事業（=VBC）に対し、GBCの市場の成長性は高い。将来的には、GBCをVBCと並ぶ「二本柱」へと成長させる



足下の業績と当面の経営指針



<https://www.leader.co.jp/>

2025年3月期通期業績予想の修正について

米州・欧州において、先行き不透明感から設備投資意欲が後退、特に欧州にて、予定していたプロジェクトのキャンセル、延期が多数発生しており、4Qでの失速を見込む。

販売管理費削減等のコスト削減を実施するも挽回は限定的。一株当たり配当金の予想は15円据置。

(単位：百万円)	2025年3月期 期初計画	2025年3月期修正計画 2025/1/16公表	期初計画比 金額	期初計画比 %
売上高	4,650	4,200	△450	△9.6%
営業利益	250	△165	△415	—
経常利益	250	△200	△450	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	190	△215	△405	—
EPS (円)	56.34	△63.44		
1株当たり配当金 (円)	15.0	15.0		据置

当面の経営方針

- 当面、「出口の見えない」「五里霧中」の中を進むことから、毎年度着実に営業利益を計上する方針
 - GBCへの投資は継続。VBCを中心にコスト・コントロール力を強化

	従来	当面
前提条件	■ 中期的にも売上の見通しが立てやすい	■ 短期的にも売上の見通しが不透明
経営方針	■ 積極的に先行投資を行い、後に大きな利益を得る 「投資回収型」モデル	■ コスト・コントロールを最優先し、常に着実に利益を計上する 「マイクロ・マネジメント」モデル

数値目標

- 利益目標 : 連結営業利益300百万円
- 株価目標 : PBR 1 倍
- 配当性向 : 最低25%を維持

株主還元

企業成長投資と株主還元のバランス重視。安定的な配当を継続。
 2025年3月期も一株当たり15円の配当を実施予定。
 来期以降は配当性向25%に設定。

(配当：円)

